

学生会だより

東北学生会（一関高専）の活動

メカライフの企画として、一関工業高等専門学校では中学生向けのオープンキャンパスと学園祭時に機械工学を身近に感じ興味を持ってもらう企画に取り組んでおり、今年度学園祭に取り組んだ内容を紹介する。

まず、高専と言えばロボット、ということで卒業研究および授業で開発したロボットを展示し、実際に触って動かしてもらった。

図1は無線通信で動く移動ロボットに風船をつけ、4台で互いに割り合うゲームの様子である。

このほかにもいろいろなものを攪拌するシェイカーロボットや授業で開発した迷路脱出口ロボットなどを展示・実演した。これらの展示はとくに小学生

に人気があり、いずれのロボットも学生が作ったものだとなると、多くの人が興味深そうに質問をしてくれた。

つづいては実際にものを作ってみよう、ということで射出成型機で作ったオリジナルキーホルダの組立（図2）と鑄造の実演（図3）を企画した。とくに鑄造は砂型づくりから行い、本格的な鑄造作業に挑戦してもらった結

果、多くの来場者に恵まれた。

このように、ただ展示・説明をするだけでなく、来場者に実際に触って動かしてもらうことで、機械工学の魅力をアピールできたと考えている。

（文責 一関工業高等専門学校 機械工学科 藤原康宣）



図2 射出成型機で作ったオリジナルキーホルダの組立て



図1 4台の移動ロボットが風船を割り合うゲーム



図3 鑄造の実演